

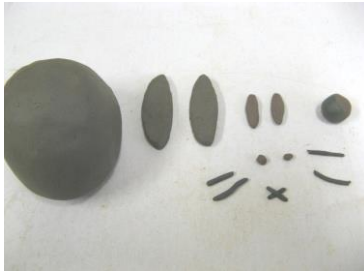
# 陶芸① カードスタンド



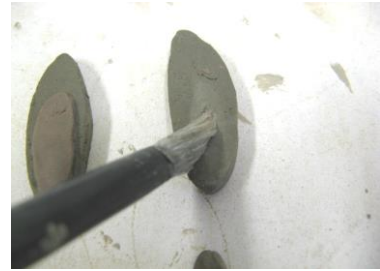
(1クラス40人の場合)		数量
信楽特練粘土(白)	1kg	20
カラー粘土	グリーン	3
"	ピンク	3
"	オレンジ	3
"	トルコ青	3
透明釉	1ℓ	2

## 他に用意するもの

- ・ハブラシ
- ・鉛筆
- ・筆
- ・パレットナイフ
- ・竹串(薄くした粘土をカットする)
- ・糸のこ
- ・粘土へら
- ・スポンジ



- ① それぞれのパーツを作成する  
細かいパーツは乾きやすいので  
あとから作成する。



- ② 接着するときはまず筆で両側に  
水をつけて...



- ③ ハブラシでゴシゴシこすり、泥を  
作る。泥が接着剤の役割します。  
水では接着しません。



- ④ 押し付けて接着します。



- ⑤ 底をくりぬいたり、鉛筆を刺して  
穴をあけたりします。これをしないと  
窯の中で爆発することがあります。



- ⑥ 糸のこで切れ目をいれます。  
垂直より奥に倒した角度で切ります。  
これで差したカードが見やすい角度に。



- ⑦ パレットナイフで上側を広げ、溝をならします。



- ⑧ 左側が前面とすると、このような角度で切れ目を入れ、溝の形状がV字になっているのが理想です。溝は縮むので少し広めにします。



- ⑨ 約2週間乾燥させます。後日底面を上に向けるなどまんべんなく乾燥させてください。完全乾燥後素焼します。



素焼(750度)だけで終了する場合



焼成後に水彩絵具をぬることもできます。(絵具は薄めに)



- ⑩ 釉薬を掛ける直前に筆にたっぷりの水をつけ、カードを立てる溝に含ませます。これで透明釉で溝が埋まるのを防ぎます。



- ⑪ 釉薬をよく混ぜ、半分くらいひたしてすぐ引き上げます。透明釉の場合コピー用紙くらいの厚さが付けば良いです。溝に水分があるうちに溝の部分も釉かけします。



- ⑫ 水が引いて持てるようになったら残り半分にも釉薬をつけます。



- ⑬ 接地面についた釉薬を水をたくさん含ませたスポンジでふきとります。

## 札幌陶芸

〒003-0021 札幌市白石区栄通15丁目8-38

電話 (011) 852-2595

FAX (011) 852-8771